



環境 混ぜればゴミ、分ければ資源!

問 住民環境課 環境対策係
☎476-1111(127・128)

◆『大崎町地球温暖化防止実行計画』 平成 26 年度の結果について

1. 実行計画の策定目的

大崎町では、本町における事務及び事業について、職員自らの活動が地球環境に負荷をかけていることを認識し、住民や事業所の規範となり、地球温暖化防止活動の促進と実効性の確保を図るために、平成 24 年度を基準年度とした『大崎町地球温暖化防止実行計画』（以下、『実行計画』）を策定いたしました。

この実行計画は、平成 26 年度から 30 年度までの 5 年間で計画期間とし、平成 30 年度における温室効果ガス排出量を基準年度である平成 24 年度と比較して、5 %削減することを目標としています。

2. 実行計画の進捗状況について

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく実行計画として、平成 26 年度から実行計画の取り組みを推進し、町の事務事業に伴う温室効果ガスの排出削減に努めています。

しかしながら、平成 26 年度に町の事務事業から排出された温室効果ガスは、基準年度である平成 24 年度と比較して 13.67%増加しています。増加の要因は電気の使用に伴う排出量の増が挙げられますが、電力使用量は平成 24 年度 2,386,710kWh に対し、平成 26 年度は 2,344,376kWh と 1.8%削減 (△42,334kWh) されているものの、火力発電量の増加に伴い電力排出係数が上昇 (0.525 → 0.613) したことにより、184 トン (14.69%) 増加しています。なお、原因別の排出量は次のとおりです。

【原因別状況】

	平成 24 年度 (基準年度)		平成 26 年度			
	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)	増減量 (kg-CO ₂)	増減率 (%)
電気の使用	1,253,023	84.57	1,437,102	85.34	184,079	14.69
ガソリン使用	68,640	4.63	68,359	4.06	△281	△0.41
その他	159,923	10.79	178,591	10.60	18,668	11.67
合計	1,481,586		1,684,052		202,466	13.67

3. 今後の取り組み

平成 26 年度の実績を重視し、引き続き全庁的な事務事業の見直しを行います。

また、省エネに対する意識啓発に努め、地球温暖化防止対策の意識の高揚と実践の徹底を図り、今後も温室効果ガス排出量削減のため省エネ・省資源化の取り組みを継続して推進します。